

問1 光合成によって葉でつくられたデンプンは、その後水に溶けやすい物質に変化して植物の体全体に運ばれます。この養分が通る管の名称と、根から吸収された水が主に通る管の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

1. 養分の通り道：道管、水の通り道：師管	2. 養分の通り道：師管、水の通り道：道管	3. 養分の通り道：師管、水の通り道：気孔	4. 養分の通り道：気孔、水の通り道：道管
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

問2 ヒトの唾液に含まれており、デンプンを麦芽糖（マルトース）などの別の物質に分解するはたらきをもつ消化酵素を何といいますか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)

1. トリプシン	2. リパーゼ	3. ペプシン	4. アミラーゼ
----------	---------	---------	----------

問3 食物に含まれるデンプン、タンパク質、脂肪の3つの大きな栄養素が、消化酵素によって最終的に分解され、小腸で吸収されるとき物質の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2014年 岐阜県公立入試 類似)

1. デンプンはブドウ糖、タンパク質はアミノ酸、脂肪は脂肪酸とモノグリセリドに分解される。	2. デンプンはブドウ糖、タンパク質はグリコーゲン、脂肪は脂肪酸とモノグリセリドに分解される。	3. デンプンは麦芽糖、タンパク質は脂肪酸、脂肪はアミノ酸に分解される。	4. デンプンはグリコーゲン、タンパク質はアミノ酸、脂肪はブドウ糖に分解される。
---	---	--------------------------------------	--

問4 植物の蒸散量を調べる実験において、葉の表面や裏面にワセリンを塗る操作を行うことがあります。この実験でワセリンを用いる目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 秋田県公立入試 類似)

1. 葉の温度上昇を防ぎ、水分の蒸発を物理的に抑制するため	2. 気孔をふさぐことで、その面からの蒸散が起こらないようにするため	3. 植物の呼吸を止めて、光合成による水分の変化だけを観察するため	4. ワセリンの重さを加えることで、水面に植物を固定しやすくするため
-------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------

問5 小腸の内壁にある柔毛という多数の小さな突起から吸収され、毛細血管の中に入って血液によって全身へ運ばれる栄養分の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. 脂肪酸とモノグリセリド	2. ブドウ糖とアミノ酸	3. 二酸化炭素と尿素	4. デンプンとタンパク質
----------------	--------------	-------------	---------------

問6 ヒトが何かに触れて「冷たい」と感じ、自分の意思でその物から手を離すとき、体内での信号の伝達経路として正しい順序はどれか。刺激を受けた場所から反応が起こる場所への順に並んでいるものを選びなさい。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)

1. 感覚器官 → 運動神経 → 脳 → 感覚神経 → 筋肉	2. 感覚器官 → 感覚神経 → 脳 → 運動神経 → 筋肉	3. 筋肉 → 運動神経 → 脳 → 感覚神経 → 感覚器官	4. 感覚器官 → 感覚神経 → 脊髄 → 運動神経 → 筋肉
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

問7 熱いものに手が触れたとき、意識する前に思わず手をひっこめるような「反射」において、刺激の信号が伝わる正しい経路はどれか。なお、矢印は信号の伝わる向きを表している。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 感覚器官 → 脊髄 → 脳 → 感覚神経 → 運動器官	2. 感覚器官 → 感覚神経 → 脊髄 → 運動神経 → 運動器官	3. 感覚器官 → 運動神経 → 脊髄 → 感覚神経 → 運動器官	4. 感覚器官 → 感覚神経 → 脳 → 運動神経 → 運動器官
--------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------

問8 対照実験を行う際、調べたい条件以外の条件（温度、湿度、光の当たり方、試料の量など）をすべて同じにしなければならない理由として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)

1. 変化の原因が特定の条件によるものか、それ以外の条件によるものかを区別できなくなるから	2. 条件の一つに絞らないと、実験にかかる費用やエネルギーが大きくなりすぎるから	3. 条件を複雑にすると、実験者の主観が入りやすくなり正確なスケッチが描けないから	4. すべての条件を等しくしないと、グラフや表にデータをまとめることが不可能だから
---	--	---	---

問9 ヒトが刺激を受けてから反射によって筋肉が動くまでの、信号が伝わる経路を順に並べたものとして正しいものはどれか。 (2014年 福岡県公立入試 類似)

1. 感覚器官 → 感覚神経 → 脳 → 運動神経 → 筋肉	2. 感覚器官 → せきずい → 脳 → せきずい → 筋肉	3. 感覚器官 → 運動神経 → せきずい → 感覚神経 → 筋肉	4. 感覚器官 → 感覚神経 → せきずい → 運動神経 → 筋肉
--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

問10 外界からの光、音、温度、痛みなどのさまざまな刺激を受け取るための専用の器官を総称して何といいますか。 (2025年 広島県公立入試 類似)

1. 感覚器官	2. 消化器官	3. 運動器官	4. 排出器官
---------	---------	---------	---------

問11 熱いものに触れて思わず手を引っ込める「反射」と比較して、飛んできたボールを見て手で受け止める「意識的な反応」において、反応が起こるまでに時間がかかる理由として適切な説明はどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

1. 感覚神経が刺激を受け取ってから脊髄に到達するまでの速度が遅くなるため	2. 筋肉を動かすための命令が、脊髄を通らずに直接脳から筋肉へ伝わるため	3. 脳が刺激を受け取り、どのように反応するかを判断する過程が含まれるため	4. 信号が伝わる感覚神経と運動神経の長さが、反射の場合よりも物理的に長い
---------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------

問12 肺胞のまわりを取り囲む毛細血管内の血液と、肺胞内の空気との間で行われる「ガス交換」の内容を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2018年 福島県公立入試 類似)

1. 血液中の二酸化炭素が肺胞内へ出され、肺胞内の酸素が血液中に取り込まれる。	2. 血液中の酸素が肺胞内へ出され、肺胞内の二酸化炭素が血液中に取り込まれる。	3. 血液中の酸素が肺胞内へ出され、肺胞内の水蒸気が血液中に取り込まれる。	4. 血液中の窒素が肺胞内へ出され、肺胞内の酸素が血液中に取り込まれる。
---	---	---------------------------------------	--------------------------------------

問13 生のバイナッブルに含まれる消化酵素が持つ、物質を分解する働きについて説明したものとして、正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)

1. 糖とビタミンを分解する	2. デンプンと脂肪を分解する	3. デンプンとタンパク質を分解する	4. タンパク質と脂肪を分解する
----------------	-----------------	--------------------	------------------

問14 心臓から肺へ送られた血液が、再び心臓に戻り、その後全身へと送り出されるまでの経路について、血液が通過する場所の順番として正しいものはどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)

1. 右心室 → 肺動脈 → 肺 → 肺静脈 → 左心房	2. 右心室 → 肺静脈 → 肺 → 肺動脈 → 左心房	3. 左心室 → 肺動脈 → 肺 → 肺静脈 → 右心房	4. 左心室 → 肺静脈 → 肺 → 肺動脈 → 右心房
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------